

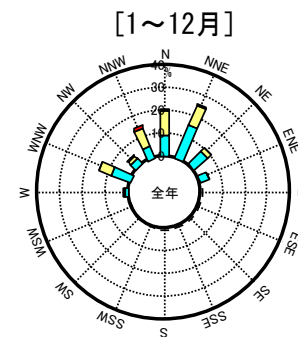
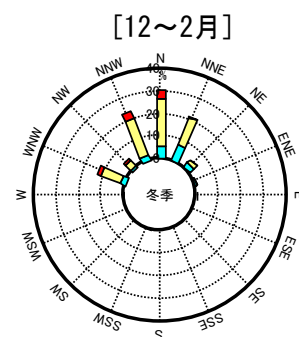
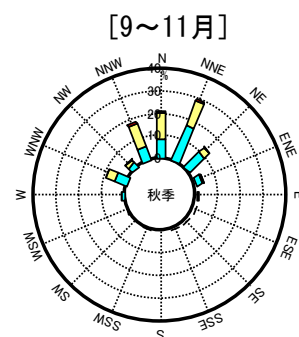
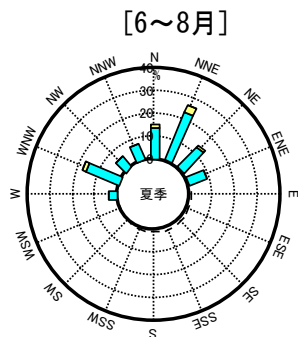
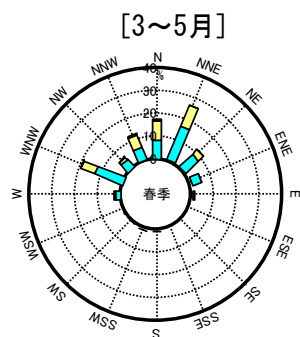
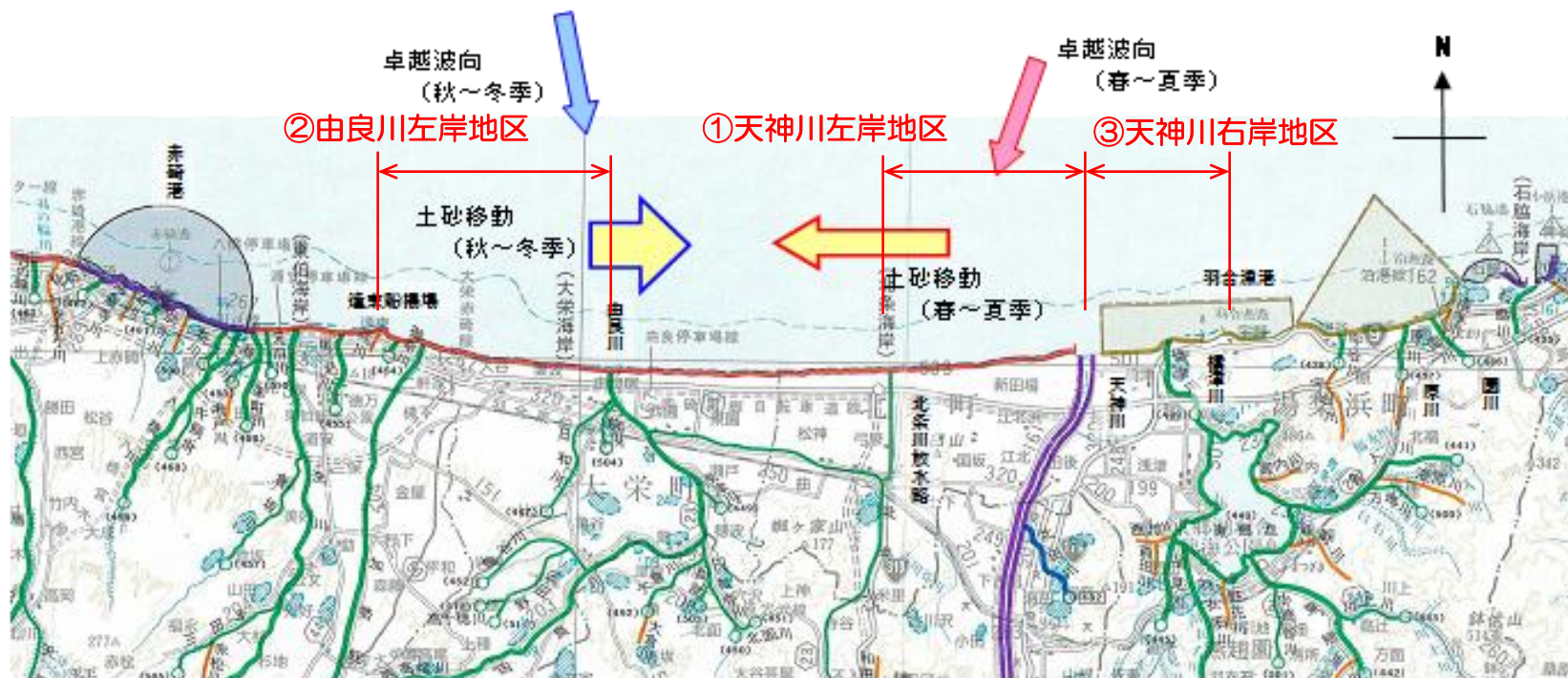
平成26年度 鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議 ＜要旨＞



H26年7月撮影

平成26年10月29日(水)
鳥 取 県

対象範囲の漂砂移動について

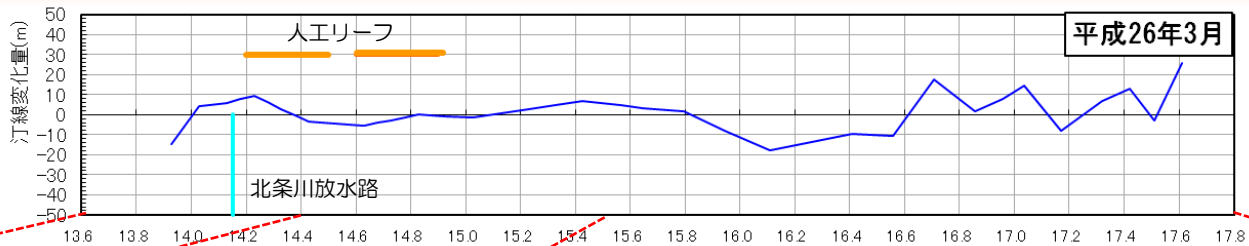


有義波高-波高頻度分布図：鳥取港波浪観測データ（2003～2014年）
 観測データ：ナウファス（国土交通省港湾局全国港湾海洋波浪情報網）
 ※2014年は、現在（2014.10.1時点）で公表されている5月までのデータで整理

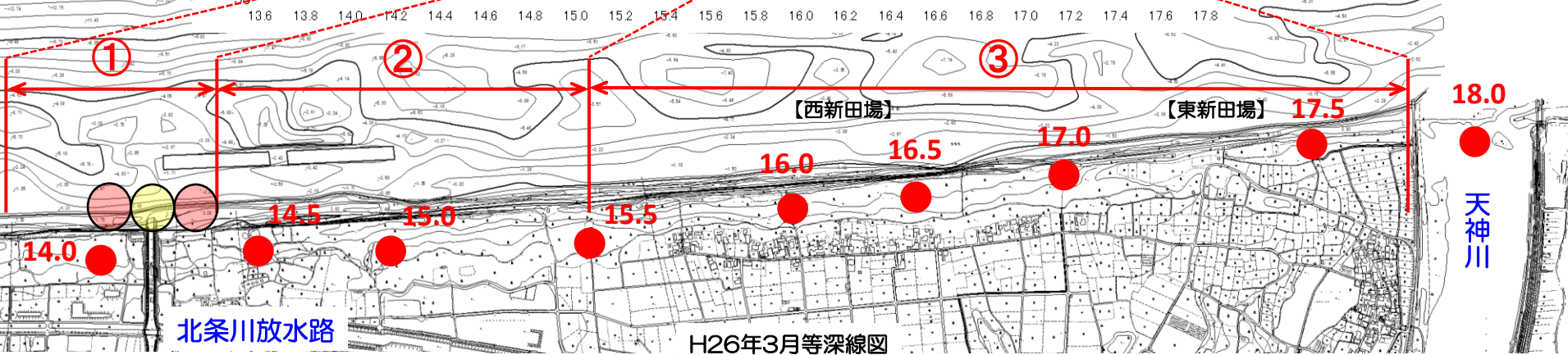
- $H_{1/3} > 3m$ 頻度割合 (%)
- $3m \geq H_{1/3} > 1m$ 頻度割合 (%)
- $1m \geq H_{1/3}$ 頻度割合 (%)

①天神川左岸地区(天神川河口左岸～北条川放水路右岸)

H26年度
● : 採取位置
● : 投入位置



天神川左岸地区の汀線変化状況図
(平成15年9月基準)

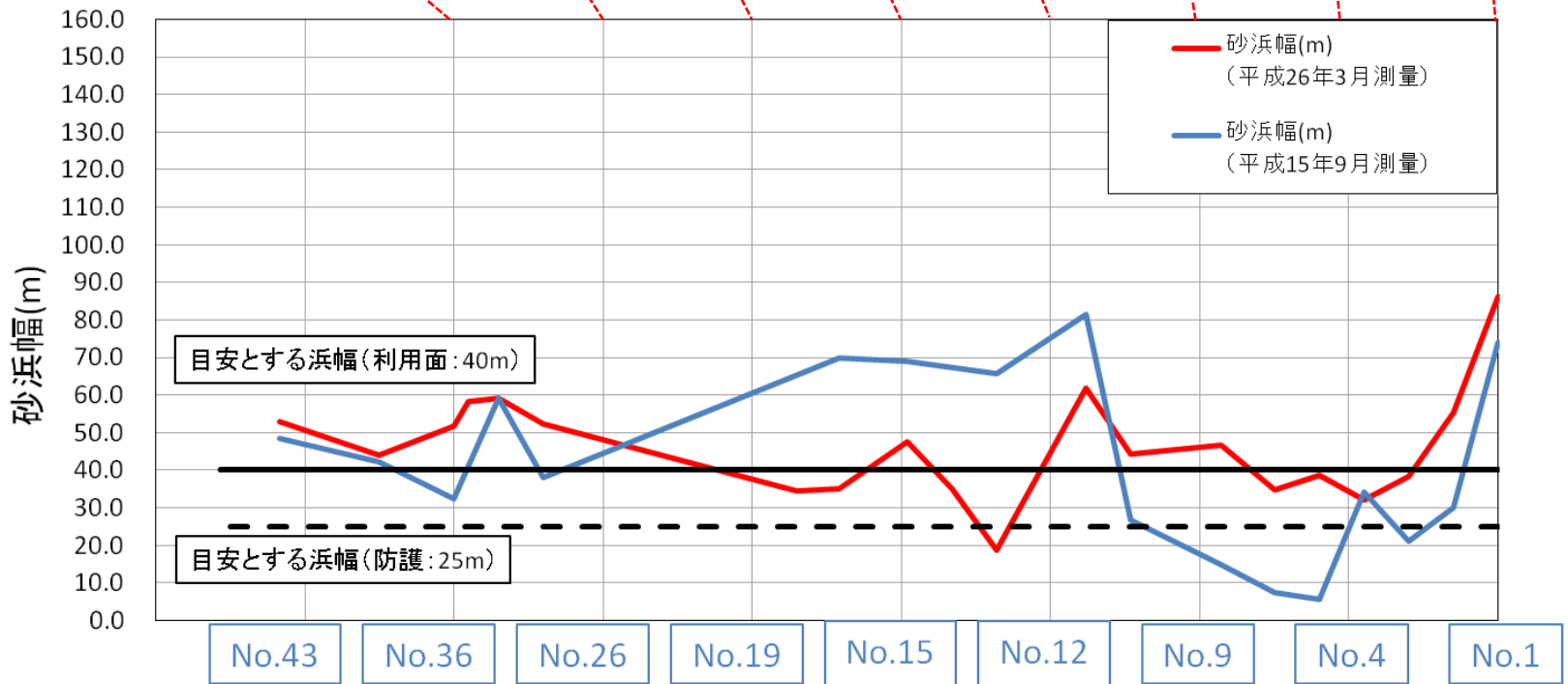


区 間	①	②	③
H15年からの傾向	サンドリサイクルの効果により安定傾向。	人工リーフの効果により安定傾向。	局所的な侵食が発生している。
H15年からの対策	サンドリサイクル (H22～北条川放水路河口浚渫土)	(人工リーフ整備済み) ※H15までに整備完了	サンドリサイクル (北条川放水路整備掘削土等)
H26年対策	サンドリサイクル	—	—
H25～H26年の変化	サンドリサイクルにより、堆積傾向。	大きな変動なし。	サンドリサイクルにより、汀線維持。 (逢東船揚場⇒西新田場、赤碕港⇒東新田場)
H27年対策予定	サンドリサイクル	—	必要に応じてサンドリサイクル

H18～H25年度サンドリサイクル量: 61,760m³、年平均: 3,822m³、H25年度: 5,060m³(天神川: 2,000m³除く)
 ・天神川流砂系については、河川からの土砂量の減少や系外への持ち出しもなく、比較的安定した土砂供給がもたらされている。
 ・西新田場、東新田場等に局所的な侵食箇所があるため、状況に応じて、サンドリサイクルを実施する必要がある。

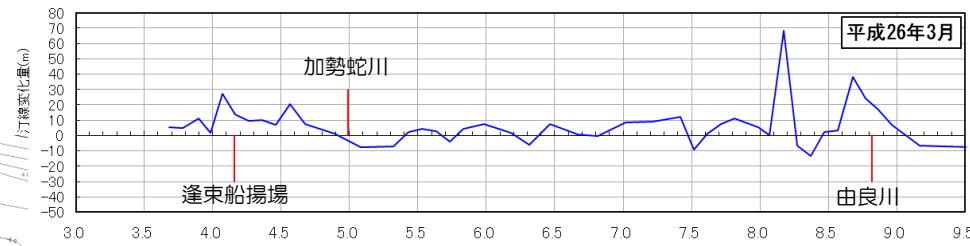
①天神川左岸地区 (天神川河口左岸～北条川放水路右岸)

H25年9月航空写真

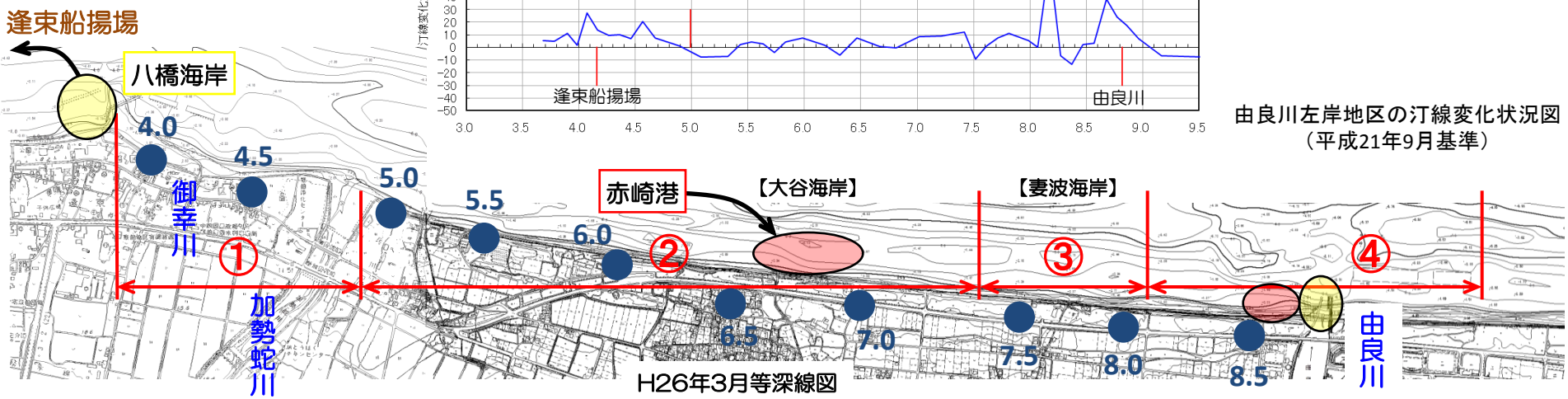


②由良川左岸地区(由良川河口～逢東船揚場)

H26年度
● : 採取位置
● : 投入位置



由良川左岸地区の汀線変化状況図
 (平成21年9月基準)

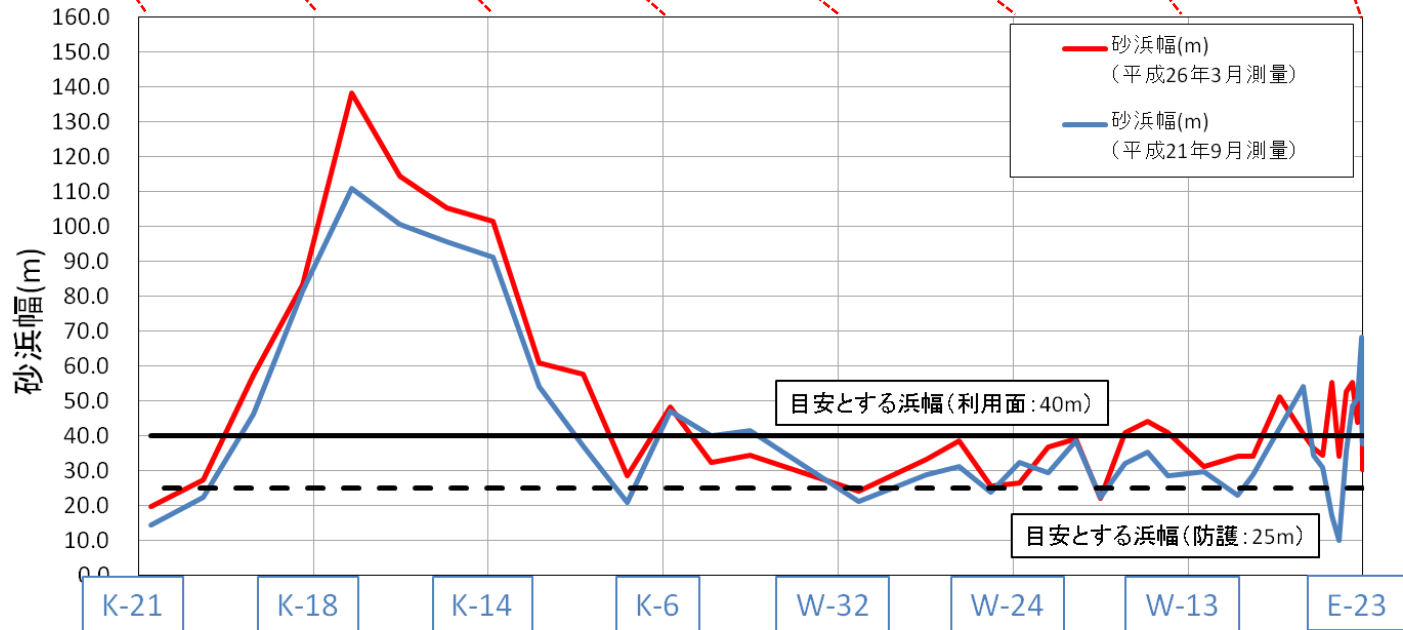
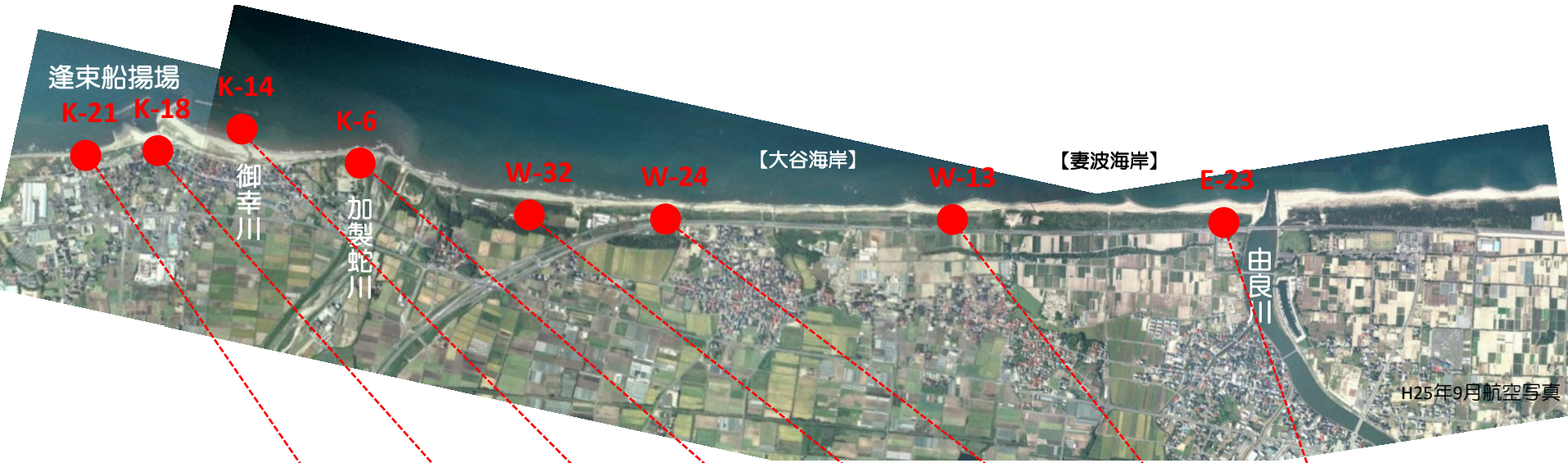


H26年3月等深線図

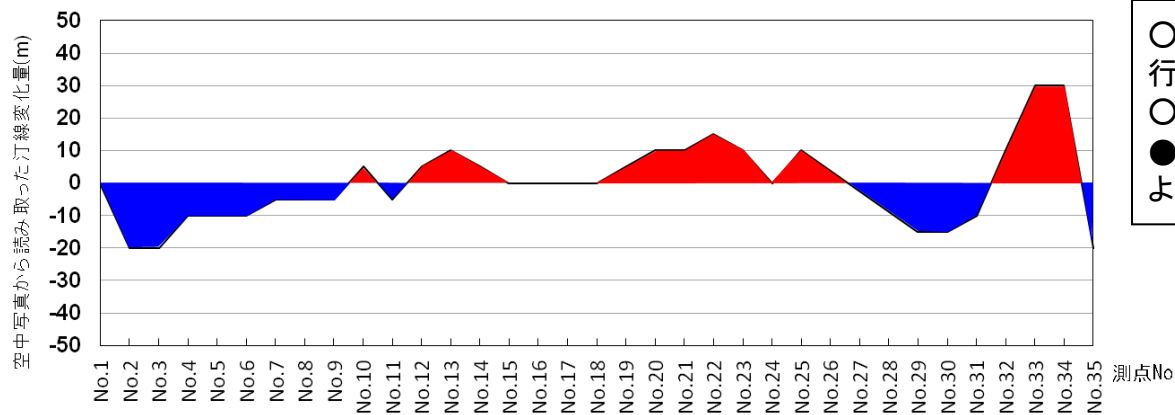
区 間	①	②	③	④
H21年からの傾向	H23年9月台風により加勢蛇川河口に土砂堆積し、汀線回復に寄与。	局所的な侵食あり。	サンドリサイクルにより、汀線は安定傾向。	由良川左岸に局所的な侵食あり。
H21年からの対策	サンドリサイクル	サンドリサイクル	サンドリサイクル	サンドリサイクル
H26年対策	—	サンドリサイクル	—	サンドリサイクル
H25～H26年の変化	大きな変動なし	サンドリサイクルにより、汀線前進。	大きな変動なし	サンドリサイクルにより、汀線前進。
H27年対策予定	サンドリサイクル	必要に応じてサンドリサイクル	必要に応じてサンドリサイクル	サンドリサイクル

H21～H25年度サンドリサイクル量: 39,843m³、年平均: 7,968m³、H25年度: 9,000m³(天神川: 10,000m³除く)
 ・天神川流砂系については、河川からの土砂量の減少や系外への持ち出しもなく、比較的安定した土砂供給がもたらされている。
 ・局所的な侵食箇所が発生するため、海浜状況を注視し、サンドリサイクルを引き続き実施する必要がある。

②由良川左岸地区(由良川河口～逢東船揚場)



③天神川右岸地区(天神川河口右岸～橋津川左岸)



○天神川河口の右岸 (No.1～No.9) で海岸侵食が進行傾向にある。
 ○橋津川右岸では堆積傾向となっている。
 ●侵食傾向となっている箇所について、各管理者による対応等を実施しているところである。